



新潟県山田錦協議会

令和元年産を振り返って

～ 岩渕会長と山崎副会長へインタビュー ～



(有)エコ・ライス新潟
定価 100円(送料込)

岩渕会長

Q. 令和元年産を振り返ってどうでしたか

今年(令和元年)は夜温(最低気温)が高くて、米の品質が悪くなってしまう。出穂10日過ぎのお盆頃、最高気温39.2℃、最低気温28.8℃という状況が影響したのではないかと思う。

Q. 山田錦についてはどうでしたか

高温で稲体が弱っていたのではないかと肥料を与えても、稲の体を保つのに使われてしまった可能性はある。時期を予測して肥料を撒けるかがポイントになります。

Q. 今年からドローンを導入されたようですが



防除をするのに今年から導入した。面積拡大のため今後は必要になると思う。以前のよいうに背負いながらの作業では後継者もなかなか育たない。今後は、夏の肥料散布でも使いたいと考えている。

Q. 来年に向けて、どのように考えていますか

山田錦は難しい品種で、悪い年が続いているが、品質よく売れる米を作っていきたい。旭酒造の桜井会長のお言葉のように、いい時も悪い時もある。悪い時にどうして良かったのか考えて、研究して工

夫して乗り切っていきたい。

山崎副会長

Q. 令和元年産を振り返ってどうでしたか

他品種の作付けの関係で、山田錦の田植えが遅れたため、刈り取りが心配だった。品質はまあまあだったが、収量はよくなかった。しかし、登熟が揃い、リモートセンシングの効果は実感している。これにプラスして収量を上げる技術があればなおよい。

Q. 来年に向けて、どのように考えていますか

来年は少し品種を絞ることも考え、田植えを早目にしたいと思っている。また、除草剤散布の作業時間短縮ができるホバークラフトに興味を持っている。

あとがき

お二方とも、品質のよい米づくりと、より効率よく農業をスマート化させようと考えておられました。お忙しい中、大変ありがとうございました。(児玉)

安定した収入

米粉米を作りませんか

約3,000俵(玄米ベース)

品質に左右されない!



食物アレルギー対応クッキーは
幼稚園、保育園をはじめ自治体の
災害備蓄として大きな需要があります。

加工米を作りませんか

